

さっぽろ支部だより

2011年

北海道行政書士会札幌支部

第

123号



contents

もくじ

支部長新年挨拶	2
副支部長新年挨拶	3~4
各部長新年挨拶	5~6
広報月間の活動報告	7
事務所経営の成功事例	8~9
任意会へおじゃましま〜す	10
一般研修報告・無料相談会まとめ	11
事務局からの報告・編集後記	12

支部長新年挨拶



新春のご挨拶

札幌支部長 宮元 仁

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

札幌支部会員の皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

当職も2期目を拝命し、1期目より様々な角度から札幌支部を見つめ、日々活動している次第です。

今期は昨年5月26日に、札幌支部50周年記念式典を北海道石狩振興局長、札幌市副市長、当会会長・12支部支部長ご臨席の下の開催にて幕が開きました。東日本大震災の直後ということもあり、社会が自粛ムードの中、延期や中止も思案いたしました。が、予定より規模縮小ながら札幌市民ホール大ホールにて、粛々と厳かに開催できました。これもひとえに皆様のご理解・ご協力の賜物であり、この場をお借りして御礼申し上げます。

式典は、歴代支部長への感謝状表彰にはじまり、会員が制作・演出・ナレーションの「札幌支部50周年の歩み」のスライド上映、札幌支部会員で編成された「札幌支部男性合唱団唄侍48」による合唱等、全てを会員の手作業によりアットホーム式典に仕上げました。中でも支部長表彰におきましては、昨年10月に急逝なされました米田倶實元支部長の、当会での最後の魅姿であったかと思いと感慨無量の思いが致します。

夏場には、支部交流会としてパークゴルフをサッポロビール庭園にて開催し、特段、恵庭市近隣の会員の皆様の交流の場となったかと思われ。次に、恒例の小樽・旭

川との研修会が層雲峡にて開催され、新生された支部の役員と近隣支部との交流の場を持つことができました。

また、札幌テレビ24時間チャリティ参加では、支部事務局が入居致します羽柴ビル前にて、募金活動を社会貢献の一環としてさせて頂き多くの成果をあげました。

他方、支部主催の研修も予定通り開催致しており、質・量とも充実したものであるよう計画・開催しております。今回、全国的な研修業務の内容を調査したところ、開催量では日本一であるようでした。今後とも質感や精度を益々向上させ、皆様のスキルアップのために貢献する所存です。

さて、中国の故事に「大功無名」という言葉があります。表面に立って華々しく活動するよりも、隠然と陰で働くことで功をたてるという意味合いですが、大陸型ではない日本人は、一直線な有言実行を好む気質とされております。札幌支部役員は、後者よりも前者の気質の方の集合体であると自認致しております。華々しくもなく、報酬も、褒められることもない環境の中で、支部会員の皆様の安心安全のため、いつの日か巡り巡って保身となることを信じつつ、日々奮闘している者ばかりです。わたくしも、皆様の輝かしい才を成果として発揮できるよう、愚は愚で守るというある意味難儀なポジションを司り、全体の真の安心立命を求めてゆく所存です。

どうぞ皆様、お親身ご自愛致してご健勝なる一年でありつつ、私他若き支部スタッフ一同に、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

副支部長新年挨拶 ①



士業は特別な存在か

副支部長 荒木 徹

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、皆様のご協力により札幌支部設立50周年記念式典を無事行うことができましたこと、誠に感謝申し上げます。

また、次の60周年、70周年とこの支部が存続できるよう次の世代に伝えなければならないことがあるように思います。

さて、今年、新年の挨拶はそこそこに昨今、考えていることをまったくの私見ではありますが、述べさせていただくことにいたします。

昨年、日行連の運輸交通担当者会議に出席させていただく機会があり、全国単位会の代表者と意見交換をさせていただきました。意見交換の折、士業といえども、時代に即した国民のニーズに応えていかなければその存在

意義が薄れていき、生き残っていくことが難しくなるのだということを感じました。

希望をもって様々な業界からこの会に入会された方々にお伝えしたいこと。

自分の得意分野を生かすこと。得意分野がないという方は、興味をもった分野に取り組んでほしいと思います。次に自分の視点ではなく、利用者側からの視点で自分が提供しているサービスを利用したいと思うかどうかを客観的に判断してほしいと思います。利用者側は、どの先生に頼んでも結果は同じだと思っています。

行政書士会が広報活動をすればするほど、皆さんが個々にソーシャルメディア等で活動すればするほど、士業は特別な存在ではなくなって行きます。では、どこで差別化を図るのか、これを考えてみてください。

「来年もまた皆さんが行政書士としてこの会報を御覧になっていることを願って」



新年挨拶

副支部長 松山 丈史

新年明けましておめでとうございます。副支部長の松山です。旧年中賜りました札幌支部へのご協力に対しまして、この場をお借りし感謝申し上げます。

さて、今年度は副支部長として2年目ですが、昨年度までも所管しておりました監察広報部を森越副支部長とともに分掌し、私は主に広報月間などを担当しております。

さて、昨年、政府よりTPP交渉の協議入りへの参加表明がなされましたが、法務サービスの自由化は特に私たちの関心事かと思えます。外国法事務弁護士による専門職法人の設立やインターナショナル・リーガル・パートナーシップなどが、「日米経済調和対話」

の事務レベル会合で、米国側の関心事項として挙げられておりますが、これは本邦においては弁護士のみならず、私たちの業務においても関連してくるものと思われます。

また、様々な許認可が非関税障壁となる可能性もあり、どのような範囲が対象となるのか、TPP交渉から目が離せません。

今のところ、先読みができない状況ではありますが、一方では、このTPP交渉の行方如何によっては、行政書士にとっての好機ととらえる向きもあります。

今後の動向に注視し、できるだけ新鮮な情報をお届けできるよう、この一年職責を果たしてまいりますので、今年もどうぞよろしくお願ひします。

副支部長新年挨拶 ②



新年のご挨拶

副支部長 森越博嗣

会員の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中も支部活動へのご協力、ありがとうございました。

有能な担当部長がルーティンワークをそつなくこなしてくれていますので、自ら手を汚したことは少ない半年でした。しかし、相変わらず、会員と依頼者の方との報酬を

めぐる問題が札幌支部や北海道行政書士会に持ち込まれたり、確証が掴めないながらも、非行政書士による職域侵犯のおそれが散見されました。今後も皆様方の自衛と警戒をお願いするところであります。

旧年中の大震災の惨禍は、私自身の人生観をも変えたものでした。皆様方のご健康とビジネスのご発展を心より祈念いたします。



新年挨拶

副支部長 吉田 充

札幌支部会員の皆様、明けましておめでとうございます。

副支部長を拝命して半年以上経ちましたが、その間多くの会員の皆様並びに他の支部理事のご協力により、特段の支障なく会務を執行できたことに、この場を借りまして感謝申し上げます。

さて昨年我が国は、春まだ浅かった3月11日に「千年に一度」ともいわれる未曾有の大災害に遭遇したこともあり、最近では被災地のみならず国内全体に社会構造の変化・見直しという機運が高まってきていることを感じます。

そんな中で行政書士は、「行政手続の専門家」、「権利義務・事実証明に関する書類作成の専門家」として、大きな役割を担っていくべきであると考えます。

しかしその一方、テレビ等で“識者”と

いわれる人たちが、「行政の手続や書類の作成を代行する“代書屋”が横行している」といった旨の発言をするなど、行政書士業務に対する理解が十分に浸透していないことも感じます。

本年は、そのような状況から脱却するため、行政書士制度のアピールはもちろんのこと、個々の行政書士の資質・能力の向上を目的として、研修制度の充実を図っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



各部長新年挨拶 ①



平成24年を迎えて

総務部長 酒 勾 桂 子

札幌支部会員の皆様、いかがが新年をお迎えてでしょうか。

今年も、どうぞよろしくご指導をお願い申し上げます。

平素の怠惰な状況を救ってくれるチャンスが年2回巡ってきます。1回目は、元旦の朝、2回目はお誕生日です。

若い時は、結構前向き・身の丈以上の目標を立てたものでしたが、近年、目標を自分に合わせてしまう傾向ですがまあ、それもよし、と感じています。

平成24年元旦の朝に誓う……札幌支部総

務部長的には、札幌支部事務局運営規定の完成、旭・樽・札三支部合同研修会のBESTプランニング、総務部健全平成24年度事業計画立案等。……わたし的には、生活習慣病予防のため早寝早起・毎日半時間軽トレ。実に優等生の回答ですが、大丈夫。50余日後2回目の誓いの日が、早々に訪れ下方修正可能です。

昨年は、世界中あちらこちらで、自然大災害・経済危機・政治不安の1年でした。

今年も、平穏無事の1年となりますよう、心からお祈りいたしております。



上半期財務状況のご報告

財務部長 三 浦 勝 也

札幌支部の上半期財務状況をご報告申し上げます。

事業活動収入につきまして、支部の自主的財源の一つであります北海道収入証紙売捌き手数料は上半期(H23.4.1～H23.9.30)におきましてすでに本年度予算額の7割を達成しております。これは、何より会員皆様方そして各収入証紙売捌き出張所の皆様方のご協力のおかげであると思っております。健全かつ能率的な支部運営を行っていくためには会員皆様方による支部又は各収入証紙売捌き出張所での収入証紙の購入をお願いする次第です。何とぞ、今後ともよろしくお願

い申し上げます。

また、もう一つの自主的財源であります研修会資料代等による収入は研修会の開催が下半期に集中していることもあり上半期の予算達成率に関しましては概ね例年通りとなっております。会員の皆様方には専門的かつ高度な知識の習熟並びに業務精通のためにも一般研修、実務研修等への積極的な参加をお願いする次第であります。

次に、業務活動支出につきましても概ね当初予算の範囲内で執行されております。

最後になりましたが、下半期におきましても支部財政の運営にあたりましては安定的な財源確保と効率的な事業運営により健全な支部財政の執行に努めてまいります。

各部長新年挨拶 ②



新年のご挨拶

監察広報部長 長谷川 征 輝

支部会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願い致します。

さて、監察広報部から昨年の活動報告及び今年の活動予定をお知らせいたします。

まず、広報月間(9月から10月)において、例年の訪問先である各市役所等の関係各所に加え札幌各区の老人福祉センター、札幌市農業協同組合(JAさっぽろ)などの行政書士業務に関連する団体へ、行政書士制度及び非行政書士の排除についてお知らせしてきました。老人福祉センターは、一昨

年から相続・遺言等のセミナーを各センターで開催させていただいている経緯があり、今後も継続して開催していく予定です。また、予てから支部管轄の市町村の農業委員会には、非行政書士の排除の願いとして訪問してまいりましたが、より農家に近いJAに対しても今回は訪問し趣旨を説明し理解していただきました。

今年は、昨年12月に清田老人福祉センターで開催しました相続・遺言のセミナーに続き、2月に札幌市南老人福祉センター、3月に厚別南まちづくりセンターでそれぞれする予定でございます。



新年挨拶

業務企画部長 築 田 直 哉

札幌支部会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。札幌支部も新執行部体制になり、はや半年が経ちました。業務企画部長を拝命してからこの半年間わからないことばかりで、たくさんの方々からご指導頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

業務企画部から今年度の中間報告並びに今後の研修予定についてお知らせします。昨年は一般研修3回、実務専門講座1講座4回実施致しました。今年度の一般研修は2

月と3月、実務専門講座は1月に会社関連講座、2月に4大許認可コンプライト講座、3月に相続・遺言講座の開催を予定しております。どの研修も充実した内容になっておりますので、たくさんの方の受講を期待しております。

今年の抱負については、札幌支部会員皆様方の業務に少しでも寄与できる充実した研修を実施していきたいと思っております。札幌支部会員皆様の要望を聞き、より良い研修にしていきたいと思っておりますので、皆様宜しくお願い申し上げます。

広報月間の活動報告

札幌市副市長、札幌市議会正副議長、及び北海道議会正副議長へ表敬訪問

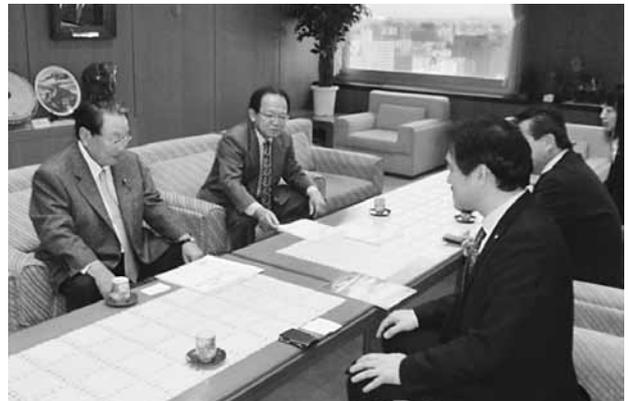
今年度の広報月間においても、札幌支部として、札幌市副市長、札幌市議会正副議長、及び北海道議会正副議長を訪問いたしました。

宮元仁支部長、森越博嗣副支部長、松山丈史副支部長、長谷川征輝監察広報部長、原田和子広報担当理事は、10月26日小澤正明副市長を訪ね、本会会員でもある木村彰男札幌市議会議員の同席のもと、行政書士業務全般と監察活動について説明し、北海道成年後見支援センターについても紹介しました。副市長は特に成年後見について興味を示され、予定時間を超えて話を聞いて下さいました。その後、三上洋右札幌市議会議長と大嶋薫同副議長を訪ねて会談し、三上議長からは各士業の業務の違いなどについて質問を受けました。

また、12月5日には、宮元支部長、森越副支部長、北海道議会議員でもある松山副支部長、長谷川部長に加え、北海道会から横内寿治業務企画部長にも足を運んでいただき、北海道行政書士会顧問の梶谷大志北海道議会議員の同席のもと、北海道議会の喜多龍一議長及び三津丈夫副議長を表敬訪問いたしました。喜多議長とは、道に対しての電子申請について意見交換を行いました。三津副議長にも道からの受託業務についてアピールし、意見交換を行いました。いずれも熱心に話を聞いて下さり、大変有意義な訪問となりました。



北海道議会 議長 喜多龍一氏



札幌市議会 議長 三上洋右氏(向かって左) 副議長 大嶋薫氏(同右)



北海道議会 副議長 三津丈夫氏



札幌市 副市長 小澤正明氏



事務所経営の成功事例

このコーナーでは、事務所経営の成功事例ということで、得意分野を確立して活躍されている会員の方々をご紹介します。今回は、葛西さとみ会員にお話をお聞きしました。

葛西さとみ 会員

【札幌市北区】

登録：平成15年4月25日

得意分野業務：法人を対象とした許認可コンサル、
会社設立・合併・許可関係の代行業務、
起業家支援業務等。顧客の9割は法人。



Q：まず、なぜ行政書士になろうと思われましたか？

A：再就職を考えた時は、現在もそうですが厳しい状況でした。そこで就職は断念し自ら起業する気持ちで、資格予備校3校を梯子し、財務系と法律系の資格勉強を3年間、徹底的にしました。その中で独立開業してやっていける資格が行政書士でした。

Q：登録当初はどのように営業しておられましたか？ また、どのような営業方法が効果的でしたか？

A：開業当時は、経済は緩やかな右肩上がりの成長性を示していた時期でしたからリーマンショックまで売上は増え続けました。行政書士の業務は、営業をして売れる商品とは性質が異なりますので、私の中に営業という文字はありません。

しかし行政書士は「身近な街の法律家」というキャッチフレーズがあるように、経営者が相談したいときに、相談しやすい位置にいて、相談しやすい状況を意識して作るということは心掛けています。

開業から10年間は仕事を増やすことより、様々な業務に精通することを重点においています。9年目の今も自然体で頂ける仕事を、業務に精通するチャンスと捉え一生懸命やらせてもらっています。

Q：開業前は保険会社にお勤めとのことですが、過去の経験・体験が業務で役立ったようなお話はございませんか？

A：在職中は十数年営業一筋でしたが、市場も商品も違います。同じやり方は通用しません。大手の看板で商売していた時と、名も無い個人事業主とでは戦い方が全く違います。しかし、前職で不屈の根性は養われたかもしれません。営業は断りからスタートしますので多少のことではめげません（笑）

Q：不屈の根性があれば、多少の困難は乗り越えられそうですね。それでは、現在の業務を行う上で、経験や体験の幅を広げ、深めるための作業等をされているのでしょうか また、何か心がけていることなどありませんか？

A：今が経験・体験を積んでいる期間です。しかし数年前の経験・体験が通用しなくなったと感じています。4、5年前と今、企業が置かれている環境が全く変化しました。ですから常に経験・体験を積みながら、過去の成功体験は捨て去り、先を読んで果敢に変革してゆくことが求められている時期なのかもしれないと感じています。



Q：現在、小樽商科大学大学院商学研究科に在学中とお聞きしましたが、なぜ大学院へ行こうと思ったのですか？ また、どのようなことを学ばれましたか？

A：小樽商科大学アントレプレナーシップ専攻(MBA)は、平成22年3月に卒業しました。それまでの2年間、昼は行政書士の業務をしながら夜と土日は学生をしました。社会人を対象とした夜間のビジネススクールですので、年代層、職業、経歴は様々な方々が通っております。アントレプレナーシップとは、起業家精神のことです。企業内において新規事業開発を担う人材、ベンチャーを起業して成長戦略を立案・実行できる人材、企業や自治体において組織改革を実施できる人材を養成することを目的としています。具体的には事業計画を作成する能力、企業内の問題を発見して有効な解決策を立案できる能力を養う場です。

2年間の勉強期間は仕事との両立が過酷でした。仕事は削れませんので睡眠時間を削って勉強しました。しかし教授陣、同期の勉強仲間からうけた影響は素晴らしいものがあり、それらが現在の私の財産です。

ビジネススクールへ行った目的は、手続代行業務から、コンサルタント業務へ移行するためです。企業から戦略やマーケティング、ファイナンスの相談が増えはじめて、私自身がそのニーズに応える能力を習得する必要が出てきました。それらの知識と技術を得るための学びの場を求めて進学することを決断しました。

Q：開業されてから9年目ということですが、今日まで長かったですか？ それともあっという間でしたか？ また、これまでの失敗談などをお聞きしたいのですが。

A：来年で10期となりますが、あっという間でした。私の人生100年計画のなかで、30年間は行政書士をやりたいと思っています。ですから、あと21年は頑張ります。

過去に大きな失敗は2回ありました。4年に1度ぐらい油断したときに起こります。しかも同じ会社の同じ業務でした。賠償責任保険は必ず入るべきです。しかし失敗した業務は私の専門業務の一つとなっています。失敗があって今があると思います。

私の年齢で企業に勤めて得られるサラリーはしれています。その点、行政書士業務は小さくても事業ですので、やっただけの成果報酬は入ります。そういう意味では十分遣り甲斐がある仕事だと感じています。定年もありませんし行政書士になって本当に良かったと思っています。

Q：事務所経営の心構え、ご自身の信念・目標等を教えてください。

A：行政書士としては「業務に精通した実務家たらん」を目指しています。個人葛西さとみとしては、バランスと最適化を心掛けています。バランスは、仕事と家庭、仕事と勉強がどちらかに片寄りすぎないように。最適化は、限られた時間と体力の中で最大の効果を発揮させるためにはどうするべきかを考えます。そうしたら何をやるべきかではなく、やってはいけないことが浮き彫りになります。そして優先順位をつけて行動します。

事務所経営は、昨年から札幌駅北口ヨドバシカメラ前の雑居ビルで、4人の行政書士で合同事務所を構えています。7年間SOHOの個人事務所でしたが子供達も大きくなりましたので自宅と事務所を分離させました。合同事務所は個人行政書士の事務所経営の一つ有り方だと思います。特に女性の行政書士や開業間もない行政書士にとってのメリットは大きいと思います。

目標ではないですが、自分の21年後の行政書士の終わらせ方を考えています。同時に10年後20年後の北海道がどうなっているのかを考えています。事務所の成長戦略を描くなら法人化して近隣他国や東京進出も可能性としてあるでしょう。もう一方で地域に根差し社会貢献的業務をしながら個人で終わらすということも考えています。

Q：最後に一言、何かございませんか？

A：最後までお読みいただきありがとうございます。

…………… 葛西会員には、お忙しい中、取材にご協力いただき、ありがとうございました。





任意会へおじゃましま～す

+ 体験レポ：「突撃おじゃましま～す」

北海道会の任意会を紹介する新コーナー「任意会へおじゃましま～す」第2回目は『水曜会』です。板垣俊夫代表にお話を伺いました。

Q：発足はいつですか？

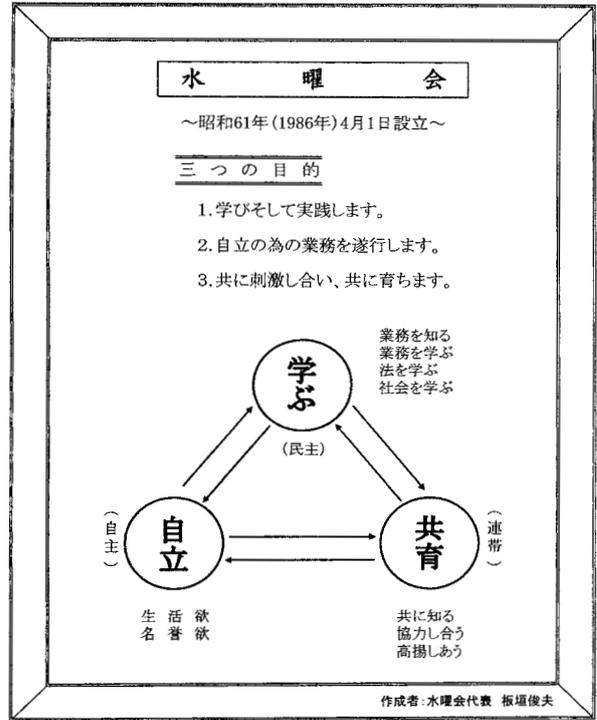
A：昭和61年4月1日です。

Q：25年近くになりますね。札幌支部の歴史の半分を占めています。研修のテーマは何ですか？

A：テーマは行政書士業務すべてです。講師は研修会の参加者が持ち回りで行います。自分で行った仕事を具体的な事例を挙げてもらって一緒に勉強しています。

Q：会の理念を教えてくださいませんか？

A：私が行政書士登録をしたのが昭和59年2月で、同年6月には「行政業務研究会」という任意会を作りました。その後、昭和61年4月に現在の水曜会を作ったのですが、水曜会の原点は、新人行政書士が仕事をして食べていけるようになるというものです。そのメルクマールを「3つの目的」として図にしたのがこちらです。(右図参照) 1の「学ぶ」には、業務を知る・業務を学ぶ・法を学ぶ・社会を学ぶという意味があり、2の「自立」には、生活欲や名誉欲が関係しており、3の「共有」には共に知る・協力し合う・高揚し合うといった意味が込められています。



・25年間続いているのはしっかりした理念のもとで活動してきたからなのですね。板垣代表、お忙しいところありがとうございました。

「突撃おじゃましま～す」のコーナー

好評の「突撃」シリーズです。支部だより編集委員が水曜会の研修会に潜入してみました。

平成23年11月16日(水)午後6時に北区民センターにおいて「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(風営法)ー2号営業ー接待飲食営業ーの申請実務について」というテーマで扱われました。この日の参加者は満員の18名。女性会員も2名いらっしゃいました。研修は非常に中身の濃い内容で、たとえば、

- ・条文を必ず見るように。その中から覚えておくべき点。
- ・北海道行政書士会などから送付される業務資料にはとても大事な物があり、風営法に関してはH15年の資料が貴重であること。
- ・実務のうえで注意しなければならないのはどんな点なのか？

といった点が話されていました。支部や本会の研修会に引けを取らないボリュームのある内容で(資料はなんと50ページ!)、経験を基にした具体例は説得力がありました。



入会希望者は、

板垣代表：☎(011-836-0989)、

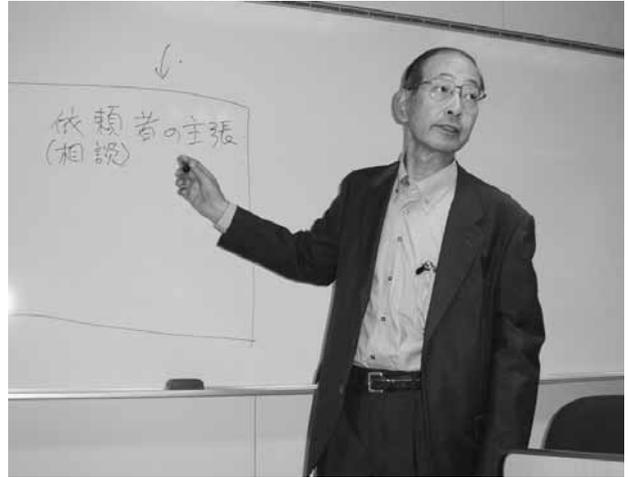
または

菊地会員：☎(011-702-0888) まで。

一般研修報告

行政書士業務としての交通事故実務

平成23年11月24日（木）、かでの2・7 520研修室にて「行政書士業務としての交通事故実務」と題する一般研修が行われました。交通事故業務に関する研修は、札幌支部では初めての研修となりましたが、76名という大勢の方々が出席され、新人・ベテランを問わず会員の関心の高さを伺い知ることができました。



講師の進藤洋次会員

平成23年度札幌支部無料相談会まとめ

4月	内容証明、離婚、相続、遺産分与
5月	なし
6月	貸金未払い、遺産分割協議
7月	相続、会社設立、遺言、損害賠償

8月	離婚（2件）
9月	敷金返還、離婚、慰謝料請求
10月	相続（2件）
11月	離婚

今年度の無料相談件数は11月末現在で18件となっており、前年同期の23件と比べ22%の減少となっています。

内容別に見ていくと、最も多いのは相続関係（遺産分割協議等含む）で、これは例年通りですが、今年度は離婚が5件あり、

前年度の2件から大幅に増えた形です。

また、行政書士広報月間の10月の相談件数が2件と少なく、無料相談の周知について、今後の課題として改めて考える必要があります。

事務局からの報告

●入会しました

(入会年月日)	(会員番号)	(氏名)	(事務所)
1.H23. 9. 1	5163	工藤 建一	南・厚別区
2.H23. 9. 1	5166	菊地 義人	中・西区1
3.H23. 9. 1	5168	石川 勝史	北・北区3
4.H23.10. 2	5170	田中 幸雄	中・西区1
5.H23.10. 2	5174	横山 達也	中・西区1
6.H23.10. 2	5175	高橋 美穂	北・北区1

●退会しました

(退会年月日)	(会員番号)	(氏名)	(事務所)
1.H23. 9. 2	4727	佐藤 直義	北・東区2
2.H23. 9.15	4940	増田 裕一	北・東区2
3.H23. 9.30	4899	横内 春美	南・南区
4.H23. 9.30	4715	下野 勝治	北・手稲区



編集後記

猫も杓子もミレニアムと騒いでいた21世紀、残念ながら猫も杓子も含まれておりませんが、早くも干支は一回りをしたようですね。振り返ってみると、20世紀末に世間を騒がせたノストラダムスの大予言よりも、この21世紀の11年の方が大きな出来事、つまり今まで予想だにできなかったような事が日常生活から世界規模まで、様々なところで起こっているように思います。現在進行形で考えてみても、欧州危機を始めとして、国内における震災復興、そして税と社会保障の一体改革など、まさに社会全体の在り方が問われている、その時代の真っ直中を生きているのだと、常々意識するようにしています。その結果、ささやかではありますが、ガソリン代の節約等のために、エ

北海道会会員のためのホームページ制作
【新春早割キャンペーン】

お申込期間：2011年12月28日～2012年1月31日
制作は3月1日よりお申込順に開始いたします。

通常価格 58,000円 → 48,000円

- 初期費用不要！
- 月々の料金不要！
- 原稿執筆不要プランあり！(+29,000円)

*詳しくはWEBでご確認ください。→ <http://legal-support.info>

※当キャンペーンについてはサイト上に記載していませんが、期間中のお申し込みは上記割引価格を適用させていただきます。

お申し込み
お問い合わせ

行政書士さくら法務事務所
011-299-1160 info@sakura-legal.net

コドライブを心掛けるようになりました。今、まさに、社会全体のみならず、自分自身の財布の在り方も問われているのです。

ところで、ノストラダムスの大予言は、実は2012年だったという説もあるようですね。こうなると今後も、十年に一度くらいは何らかの大予言が判明しそうな気がしてきます。大予言が出てくるといふ予言をしてみようかなと思う今日この頃です。

2012年は、どのような1年になるかは分かりませんが（1年経っていないので分からないのは当たり前ですが）、コンサドーレもJ1に昇格したことだし、ささやかな希望をもって、会報は締切守って、頑張っていきたいと思います。（安西）

札幌支部だより 北海道行政書士会札幌支部 第123号 2011年12月26日発行

発行人 宮元 仁 編集人 長谷川征輝
発行所 北海道行政書士会札幌支部
札幌市中央区北1条西8丁目
丸二羽柴ビル4F
TEL (011) 271-0773
FAX (011) 271-6126
gyoseisapporo@mti.biglobe.ne.jp

印刷所 社会福祉法人 北海道リハビリー
北広島市西の里507番地の1
TEL (011) 375-2116
E-mail:rihabiri@selp.net
頒 価 500円 (送料込)

ホームページ <http://gyosei.s93.xrea.com>
ブログ <http://gyoseisapporo.blog113.fc2.com>